

MARK PADMORE (TENOR) & MITSUKO UCHIDA (PIANO)  
DUO RECITAL 2022

世界が絶賛！至高のデュオ

マーク・パドモア & 内田光子  
デュオ・リサイタル 2022

11月19日(土) 19:00開演 Saturday, November 19, at 19:00

シューベルト：歌曲集『冬の旅』op. 89 D911 (全曲) Franz Schubert: Winterreise op. 89 D911

11月24日(木) 19:00開演 Thursday, November 24, at 19:00

ベートーヴェン：「希望に寄せて」(第2作) op. 94  
「あきらめ」 WoO. 149  
「星空の下の夕べの歌」 WoO. 150  
「遙かなる恋人に」 op. 98  
シューベルト：歌曲集『白鳥の歌』 D957、D965a

Ludwig van Beethoven: An die Hoffnung op. 94  
Resignation WoO. 149  
Abendlied unterm gestirnten Himmel WoO. 150  
An die ferne Geliebte op. 98  
Franz Schubert: Schwanengesang D957, D965a

東京オペラシティ コンサートホール Tokyo Opera City Concert Hall 京王新線：初台駅東口直結

チケット料金 (消費税込) S:14,000円、A:10,000円、B:6,000円、学生:1,000円 S席2公演セット券:26,000円(限定200席)

一般発売 10月1日(土)

主催：AMATI 協力：サントリー芸術財団

# MARK PADMORE (TENOR) & MITSUKO UCHIDA (PIANO) DUO RECITAL 2022



内田光子 (ピアノ)  
Mitsuko Uchida, piano

マーク・パドモア (テノール)  
Mark Padmore, Tenor

内田光子は、真実と美の姿を独自に追求しながら、自らが奏でる音楽の世界を深く掘り下げている演奏家である。モーツァルト、シューベルト、ベートーヴェンの作品の解釈で高い評価を受ける一方、ベルク、シェーンベルク、ウェーベルン、ブーレーズなどの作品に光を当て新しい世代の聴衆に紹介している。

マーラー・チェンバー・オーケストラ(MCO)のアーティストティック・パートナーであり、彼らとのヨーロッパ、北米そして日本でのツアープロジェクトを行っている。

リサイタルは、ウィーン、ベルリン、パリ、アムステルダム、ロンドン、ニューヨーク、東京で定期的開催。また、ザルツブルク・モーツァルト週間やザルツブルク・フェスティバルにも参加している。

デッカと専属契約を結び、モーツァルトのピアノ・ソナタ全集やシューベルトのピアノ・ソナタ集など幅広いレコーディングを残している。2011年、彼女が引き振りをしたクリーヴランド管とのモーツァルトのピアノ協奏曲のライブ録音が、また17年にはロシアン・レシマンとで録音したアルバム『シューマンとベルク』が、それぞれグラミー賞を受賞。

長年にわたり若い演奏家の成長を支援し、ボルレッティ・ブイトー・ノトラスト(英国)の創立理事であり、世界的な教育音楽祭であるマールボロ音楽祭(アメリカ)の音楽監督をジョナサン・ピス(ピアノ)とともに務めている。

2005年日本芸術院賞を受賞、文化功労者に選出、09年には大英帝国勳章「デイム」の称号が授与された。作品に対する深い探究と解釈が評価され、12年にはロイヤル・フィルハーモニック・ソサエティのゴールドメダル、14年にはケンブリッジ大学より名誉博士号が授与された。15年、ザルツブルク・モーツァルト週間で金賞受賞、高松宮殿下記念世界文化賞(音楽部門)を受賞。サントリーホールのアソシエイト・アーティスト。

ロンドン生まれ。クラリネットを学んだ後、合唱の奨学金を得てケンブリッジ大学キングス・カレッジに進み、優等学士学位を授与された。深い洞察に富んだ解釈、確かな様式の把握、流れるような自然な歌唱は世界中で賞賛されており、リサイタル、オペラ、現代音楽の各分野で優れた才能を発揮している。とりわけJ.S.バハの受難曲の演奏で定評があり、エヴァンゲリスト(福音史家)として、ピーター・セラーズ演出による「マイ受難曲」「ヨハネ受難曲」(サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)に出演し、大きな注目を集めた。

世界一流のオーケストラと共演を重ねるパドモアは、2016/17年シーズンのバイエルン放送交響楽団アーティスト・イン・レジデンスとして活躍。2017/18年シーズンには、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で同様のポジションに就任した。

世界各地でのリサイタルも積極的に行い、シューベルトの三大歌曲集をアムステルダム、バルセロナ、バーミンガム、ロンドン、リバプール、パリ、東京、ウィーン、ニューヨークで演奏した。特に近年では内田光子との共演によるヴィグモアホール(ロンドン)やカーネギーホール(ニューヨーク)でのコンサートは絶賛を博した。

録音は多数あり、代表的なディスクに『ベートーヴェン: ミサ・ソレムニス』『ハイドン: 天地創造』(共演: ベルナルト・ハイティンク指揮バイエルン放送交響楽団/BR KLASSIK)、『ベートーヴェン、ハイドン、モーツァルト: 歌曲集』(共演: ベズイデンホウト/ハルモニウム・アンテル)がある。『シューベルト: 冬の旅』(共演: ポール・ルイス)はグラモフォン賞2010独唱部門、『シューマン: 詩人の恋』(共演: ベズイデンホウト)はエディソン・クラシック・アワード2011など受賞も多数。

2016年にはミュージカル・アメリカよりボーカリスト・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、2019年には大英帝国勳章「サー」の称号が授与された。

現在、セント・エン德里オン夏音楽祭(イギリス、コーンウォール)芸術監督。

## 新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願い(最新の詳しい情報は、弊社ホームページにてご確認ください)

マスクの常時着用、咳エチケットの実践、入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いします。  
検温で37.5℃以上が検知された場合は入場をご遠慮いただきます。  
出演者へのプレゼント、面会はお控えください。感染防止策実施のため、時間に余裕をもってご来場ください。

## 公演当日、以下に該当されるお客様はご来場をお控えください。

- 37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。
- 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある。

## 次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求めください。

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全席指定です。指定の座席にてご鑑賞ください。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

## 10月1日(土) 一般発売開始

入場料: 全指定席 S席¥14,000 A席¥10,000 B席¥6,000 学生¥1,000  
2公演セット券(S席) ¥26,000

※学生券は東京オペラシティチケットセンターのみ取り扱い。25歳以下、お一人様1枚限り

## <チケットお申込み>

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

イープラス <https://eplus.jp/> <PC&携帯>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> <PC&携帯> (Pコード 1回券: 227-956、2公演セット券: 780-351)

ローソンチケット <https://l-tike.com/> <PC&携帯> (Lコード: 35935)